学校番号	3003

令和２年度　美術科

教科	美術	科目	美術Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	高校生の美術１（日本文教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

- 基礎・基本を押さえ、中学校美術の学習で養われた創造的な表現と鑑賞の能力をさらに伸ばし、美的直感力や発想力、構想力を培おう。
- 基本的な課題や練習課題を中心に、表現力や技術を学びます。
- 日常生活の中での「美術」の影響を感じ、美術への視野を広げよう。
- 身近にあるものを参考例として挙げ、美術への関心を高めます。
- 道具の扱い方、後片付け等のマナーを身に付けよう。

2　学習の到達目標

- 美術の幅広い活動を通して、造形的な見方･考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を育成することを目指す。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫している。	美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	制作の様子 ワークシート 鑑賞活動やグループワークの様子	ワークシート アイデアスケッチ 作品	作品	振り返りシート 発言内容

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。作品の未完成・未提出は欠点となり、作品を完成させ提出しても出席点・授業態度が悪ければ欠点となる。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	高校美術Ⅰについて	【鑑賞】【絵画・彫刻】 ・オリエンテーション 教科書等を鑑賞し、多様な表現形式について学び、「美術Ⅰ」の学習イメージを持つ。 ・教科書、道具、学習内容、評価についての理解。 ・鉛筆をカッターで削る。	○ ○	○	○	○	a:美術の多様な表現に関心を持ち、これからの学習に意欲を高めている。 d:美術作品などのよさや美しさを感じ取り、美術の働きや文化ついての理解を深めている。 b:鉛筆の木の特徴を生かし、カッターで削ることができる。 c:カッターを使用し鉛筆をうまく削れている。	学習活動の様子 制作の様子 出席・授業態度
	身近にあるデザインから学ぶ	【デザイン】【鑑賞】 ・身近にあるデザイン ショッピングバックや広告、携帯電話のアプリのロゴマーク等の鑑賞。 ・レタリング 漢字、英字のレタリング。 ・ファイルのラベル制作。 英字レタリングを行いアクリル絵の具で着色する。アクリル絵の具の特性についてポスターカラーとの違いを学習する。 ・色彩基礎 色の三要素、三属性、色相環、補色の関係、効果的な配色について、教科書・プリント・参考資料等を使いながら学習し、色相環をアクリルガッシュで制作する。 ・振り返りシート記入(鑑賞)	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○	a:生活社会における美術・デザインに関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。 d:身近にあるデザインの役割の理解を深めている。 b:条件や美しさとなどから、形や色彩などの働きを考えて表現の構想を練っている。 c:アクリル絵の具の特性を生かし、表現方法を工夫して、条件や計画を基に表現している。	制作の様子 出席・授業態度 作品

前期	色と形の平面構成	【デザイン】【鑑賞】 ・アクリルガッシュによる平面構成パネル制作をする。自然物をテーマに、そのイメージに合うように形や色、文字を選び取り、明度・彩度・配色・構成等を工夫し表現する。 ・相互鑑賞 ・振り返りシート記入(鑑賞)	○	○	○	○ ○	a:生活や社会を心豊かにする美術の働きやデザインの目的や条件、機能や用途などを考えて表現することに関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。 b:アピールする事物などデザインの目的、機能、美しさなどから主題を生成し、描画材や表現形式の特性、形や色彩などの働きを考えて表現の構想を練っている。 c:目的や意図に応じて材料や用具の特性を生かし、表現方法を工夫して、目的や計画を基に表現している。 d:作者の意図や表現の工夫、よさや美しさなどを感じ取り、生活や社会を心豊かにする美術の働きや作品などついて理解を深めている	制作の様子 出席・授業態度 ワークシート 振り返りシート 作品
後期	鍋敷きをつくろう	【彫刻立体・工芸】【鑑賞】 ・彫刻刀の種類(薬研、菱、かまぼこ、浮き彫り)とその技法を学習する。 ・鍋敷き(木彫版)制作 15×15×1・5㎝の木彫板レリーフに、薬研彫り、菱彫り、かまぼこ彫り、浮き彫りの4つの技法を彫る。 又　応用として、動植物をテーマに浮き彫りを掘る。 ・振り返りシート記入(鑑賞)	○ ○	○	○	○	a:モチーフの特徴を表現することに関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。 b:表現形式の特性を生かし、形体などを工夫して表現の構想を練っている。 c:木の性質や用具の特性を生かし、彫りたい形を思い通りに制作できる技術を修得している。 d:よさや美しさ、表現の工夫などを感じ取り、作品について理解を深めている。	制作の様子 出席・授業態度 振り返りシート 作品

	想像の世界	【絵画・エッチング】【鑑賞】 ・スクラッチボード導入 自己の内面や取り巻く状況などから主題を生成する。 ・教科書から想像の世界について学ぶ(鑑賞) ・線の表現の練習 ・アイデア:「非現実的な世界」をテーマにニードルでの描画制作に取り組む。主題を基に構想を練る。 ・構想を基に自分の表現意図に合う表現方法を工夫する。 ・主題を追及し、表現を深める。 ・他者の作品から、作者の主題、意図、創造的な表現の工夫などを感じ取り、理解する。 ・振り返りシート記入(鑑賞)	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○	a:テーマを基に想像を表現することに関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。 b:テーマを基に感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたことから主題を生成し、表現形式の特性を生かして、形体、構成などを工夫して創造的な表現の構想を練っている。 c:意図に応じて材料や用具の特性を生かし、表現方法を工夫して、主題を追及して表現している。線の描画力。 d:他の生徒の作品などのよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫などを感じ取り、作品などについて理解を深めている。	制作の様子 出席・授業態度 ワークシート 振り返りシート 作品

※　表中の観点について　a:美術への関心・意欲・態度　b:発想や構想の能力
c:創造的な技能　d:鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。